

令和5年度第1回福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議に係る意見及び回答について

NO.	分類	質問、意見等	回答
1	資料以外	風評対策に関して会議で発言のとおり。観光物産面での現況値目標値、CPI施策のターゲット等の設定状況を次回会議で確認する。	<p>【資源エネルギー庁】</p> <p>観光物産面での目標値等は設定していませんが、風評被害に伴う被災地域への観光客やインバウンドの減少などの影響が出ないように努めているところです。</p> <p>民間事業者や専門家等による浜通り地域等15市町村の地域資源を活用したツアーやイベント等の誘客コンテンツ開発等への支援を実施しており、引き続き、観光支援に取り組んでまいります。</p>
2	資料以外	発表方法について、スクリーン上でポインターを用いる形式をお考えいただければ幸いです。写真などを有益な情報を含んでいるにもかかわらず、どこに焦点をあてて説明しているのか、分かりづらくなっているように思います。	<p>【事務局：原子力安全対策課】</p> <p>説明方法について、事務局としても改善したいと考えております。</p> <p>具体的には、ご提案いただいたポインターの導入のほか、座席レイアウトの改善等を検討しております。</p> <p>分かりやすい会議とするため、今後も積極的に改善を図ってまいります。</p>
2	資料以外	勉強会も有益ですが、会議の時間帯と併せて午後にまとめるなど工夫を頂ければ幸いです。	<p>【事務局】</p> <p>勉強会・会議の時間帯についてですが、会場設営の関係もございますので難しい面もございますが、ご参加いただく構成員のご負担を少なくできるよう、調整を図りたいと思います。</p>
3	資料	先日の会議にて、専門用語や内容が理解しづらいという意見がございました。参加者に理解してもらうことは、議論していく上で大前提となるものですので、会議前に予め第三者等に資料添削してもらう、説明内容を確認してもらうことは可能でしょうか。	<p>【東京電力】</p> <p>福島県民の代表の皆さまに福島第一原子力発電所の廃炉への取り組みをご確認いただく廃炉安全確保県民会議の場において、「専門用語の多用」や「内容が理解しづらい」というご意見をいただいたことについて、大変重く受け止めております。</p> <p>当社といたしましては、廃炉は地域の皆さまの理解なくして進めることは難しく、理解が進まないことによる不安感や不信感が生じることはあってはならないと、改めて認識させていただいております。</p> <p>今回、特に「理解しづらい」とご意見をいただいたのは、当社ご説明のうち「1号機：原子炉格納容器内部調査（ペDESTAL内部詳細調査結果）」の部分であると分析しております。</p> <p>本件の説明資料は、情報を速やかにお届けするという観点で、直近で開かれた原子力規制委員会での専門的な技術説明資料を活用していることが一因と捉えております。もとより、原子力分野のテーマは専門用語が多く、そもそも内容そのものが難しいことが情報発信の大きな課題であると認識し、わかりやすい資料の作成に努めてまいりましたが、弊社のより一層の取り組みが必要な大きな宿題をいただいたと感じております。</p> <p>今回のご指摘を踏まえて、極力平易な用語や表現を用いたり、イラスト等を工夫しながらわかりやすい資料の作成に取り組み、また作成過程では、社外のデザイナーやイラストレーターといった第三者のご意見も参考にさせていただきたいと思っております（会議開催のタイミングや原子力規制委員会等との議論のスピードから、全ての資料で対応できない点があることはご容赦いただければと思います）。</p> <p>廃炉は地域の皆さまの理解なくして進めることは難しい、という原点に立ち返って、県事務局の方々、会議参加者の皆さまにもご意見を頂戴しながら、引き続き、取り組ませていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>また、福島第一原子力発電所の廃炉の現場のご視察を、今後実施することで調整させていただいております。机上の会議と併せて、県民の代表者である構成員の皆さまにご理解いただけるよう努めてまいります。</p>

4	資料以外	<p>政府が海洋放出について、安全である責任を持つと積極的に発信しないことには、国民が納得しない。</p>	<p><b>【資源エネルギー庁】</b></p> <p>ALPS処理水の海洋放出は、安全性の確保と風評対策の徹底を前提に行うこととしています。</p> <p>これまでも、地元の方々をはじめとして、説明や意見交換を1000回以上実施するとともに、漁業者との車座対話の実施、テレビCM・WEB広告・新聞広告などでの情報発信も行ってきました。また、今月4日に公表されたIAEAの包括報告書において、ALPS処理水の海洋放出は、関連する国際安全基準と整合的であり、人及び環境に対し、無視できるほどの放射線影響となることが結論として示されております。こうした内容も踏まえ、引き続き、安全確保に万全を期すとともに、科学的根拠に基づき、透明性高く国内外に対して丁寧に情報発信を行ってまいります。</p>
5	資料	<p>県民が見て分かる資料を作るよう指導が足りない。技術的な内容より、全体像、社会的影響を考慮した資料づくりにしてほしい。</p>	<p><b>【事務局：原子力安全対策課】</b></p> <p>資料について、ご指摘ありがとうございます。</p> <p>わかりやすい資料となるよう、事務局として今後も改善を図って参ります。</p>